

# 公開（ウェブサイト）用

## 第3回 富士市立小中学校適正規模等 基本方針策定委員会議事概要

**日時** 令和元年12月11日（水） 午後6時30分～午後8時30分

**場所** 富士市庁舎 5階 第二会議室

**出席者**

武井 敦史 加藤 寧 川崎 里恵 清 淳也 中山 早由里  
荻野 克雄 梅田 馨 小泉 卓登

### 会議の概要

#### 議 事

#### 富士市立小中学校適正規模・適正配置基本方針（案）について

教育委員会事務局が説明した後、委員の質疑等を行う。

〇はじめについて

A 委員	本市はまちづくりセンターが各地区にあり、「地域交流や防災の拠点でもあるため、地区のまちづくりの観点も考慮した上で適正化を進めます」とある。26地区まちづくり協議会があり、まちづくりセンターも指定管理になるような話が役所からきている。それらを考慮し、地域の格差も踏まえた上で、小中学校の適正化をやっていただきたい。また、タイアップするような形でやっていかないと、学校教育だけが進んでしまって、地域の交流の場であるまちづくりセンターのあり方も変わってくるのかと思うので、その点を含め、学校の教育と地域の教育を混ぜてやっていただければありがたい。
会長	文言ではなく方針として。了解した。
B 委員	3段目、富士川第二小中学校とあるが、分かれているのか。
C 委員	富士川第二小学校、富士川第二中学校が適切である。
事務局1	2行目に、目指す市民像「ふじの人」の育成を目的としとあるが、「ふじの人」だけで理解できるか。
会長	少し厳しい。
事務局2	「学びあい、学び続ける、ふじの人」である。そのように記載する。

会長	下から2段落目「おおむね今後10年間における短中期的な」とあるが、本来学校配置は一回建物を建てれば、最低50年は持たせなければならない。これ自体は間延びするものであってはいけないので、「長期的な視野を前提に、今後10年間における」でどうか。
----	--

○1 小・中学校の現状、2 児童生徒数の推移、3 国の考える望ましい学校規模と配置について

B委員	前回資料7ページ「しかしながら」の部分と、そのあとの「したがって」の結論の部分も抜けているが、それらを割愛しても大丈夫か。
事務局2	ここは国の立場で書いてあるので、事務局の意見はカットしている。
会長	4ページ、2015年の調査結果から、20,736人で、20年後には14,433人とあり、そのあと現在のという表記だが、現在は2015年から何年か経っているので、2015年からすると3割の減少でどうか。
B委員	2ページの真ん中のアスタリスクで、令和元年の箇所はそのままでいい。

○4 本市における望ましい学校規模と配置条件について

C委員	8ページ4段落目で、「思考力や表現力、判断力」とあるが、思考力、判断力、表現力という順に、馴染んでいる。
会長	指導要領と同じで、思考力、判断力、表現力にするか。
事務局2	はい。
C委員	10ページの(5)適正化の対象(の4項目のうち)だが、上の2つはよいが、下の2つは違和感がある。3つ目の「小規模な学校が複数近接する小中学校」は、あの辺を言っているのかと感じてしまう。1番のものに含まれているのではないか。一緒にしてはだめか。 4つめの「小・中学校を施設一体型等にすることにより、これまで以上に小中一貫教育等の発展的な教育が見込まれる小中学校」と書いてあるが、適正化の対象を言っているのであって、どのように実施するかは関係ないことなので、入れる必要はないと思うがいかがか。
会長	小中一貫の可能性があるので不適正であるというのはおかしい。理屈としては、適正であるが小中一貫が見込めるから行うのだということである。
C委員	ここに当てはまる場所は、上の二つに当てはまるのでは。もっと大きい中学校を考えているのか。そうでなければ、上の2つで十分でないか。
会長	適正化の対象であって、対象がそのまま適正規模化するというわけではな

	<p>く、様々な条件を勘案する中で、その条件としてこのことが入ってくるということだ。書くとすれば、その後の具体的な方向で配慮する事項として、適正化のメリットがより強く働く一体化校にできる場合や、近接する場合はこれをさらに推進することを考えるということであろう。</p> <p>個別の文言については、会長に一任していただきたい。</p> <p>10ページの(4)配置条件だが、この表現だと、通学距離おおむね4キロ以内、中学校はおおむね6キロ以内、通学時間はおおむね1時間以内である。国の指針では、小学校4キロ中学校6キロは同じだが、バスを出せる場合には小学校はおおむね1時間である。これだと「かつ」に見える。表現として、「通学距離として小学校4キロ以内、中学校6キロ以内ただし、バス等の通学手段を確保できる場合は小中学校ともおおむね1時間以内」としておいたほうがどうか。</p>
B委員	富士市だとバスのところはあるか。
事務局2	ある。
会長	<p>国の補助もあり、バス等を新しく出せる場合もありえる。あとは、市営等のバスを、この時間に走らせてもらう等だが、1時間以内に着くことが確保できればということである。</p> <p>「通学距離は小学校4キロ以内、中学校6キロ以内で、または通学手段を確保できる場合に、通学時間は小中学校ともおおむね1時間以内」ということでどうか。</p> <p>別に、配置条件というのを、適正条件または適正配置条件というのはいかがかということである。これはいかがか。</p>
事務局2	1回目では、適正配置と書いてあった。強い意味で条件をつけた。
会長	私が意見を言ったので覚えているが、義務教育段階である以上、かなり権利保障に近い部分だから、少し強めの表現でいいのではないのかということで、こういうふうになった。
事務局2	公教育として厳密ではないが1時間以内、これ以上かかると負担がかかるという議論であったので、子どもたちのためになるということで、条件という言葉にした。
会長	<p>ここは配置条件でよろしいか。</p> <p>このところは要検討だが、先ほど説明だと10ページの下の方の四角の中の下の方の2つは後ろの方に持っていくとして、超える小中学校であっても、長期的</p>

	<p>にそれが収まってくるようであれば適正化の対象にはしないということだったと思うが、この書き方だと、現在適正規模を満たしていないものも同じ程度の強さで適正化の対象になると読み取れる。修正したほうがよいと思うが。</p> <p>この2つを再構成して、「現在適正規模を満たしていない小・中学校、または今後10年間程度の短中期間において、適正規模を満たさなくなる可能性が高い小・中学校」それから「現在越える小・中学校で、今後10年間程度の短中期間において、越え続ける可能性が高い学校」。大きい学校でも、住宅地ができ人口が増え続けていく方向にある場合は、適正配置にしていくべきであろう。現在と近未来を見たときに、重要なのは近未来だと私は思う。一回配置換えをすれば、10年ではない長いスパンで使っていかなければならない。「現在適正規模を満たしていない小・中学校、または今後10年間程度の短中期間において、適正規模を満たさなくなる可能性が高い小・中学校」これが1つめである。2つめが「現在適正規模を越える小・中学校で、かつ今後10年間程度の短中期間において、適正規模に見合う規模に縮小する可能性が薄い学校」。縮小という言葉は良くないか。「越え続ける可能性が高い学校」がよいか。そういう学校はあるか。</p>
事務局3	<p>適正規模を満たしていないという、満たしていないというのは、小学校では12学級以上24学級を越えない範囲、これが適正規模なので、これを満たしていないというのは9学級も、26学級も含まれると私は読み取ったので、なぜ越えるがあるのかと思った。</p>
会長	<p>満たしていないというのが、より少ないと見るか、合致していないと見るかだ。適正規模に満たない小中学校はどうか。</p>
B委員	<p>単純に適正規模を下回るはどうか。</p>
会長	<p>そうすると大きいほうも、「現在適正規模を上回りかつ今後10年間程度の短中期間において、適正規模を上回り続ける可能性が高い小中学校」ですね。</p>
C委員	<p>8ページの上から5行目、「少子化、都市化、情報化」が「、」になっていて、その後の「自然体験・社会体験・生活体験」は「・」になっているが、意味はあるか。</p>
事務局2	<p>特に意図はない。</p>
会長	<p>「、」に修正する。</p> <p>(5)の「適正化に努めます」という表現について、適正化に努めるという事は方向性が決まっているということになる。ちょっと強すぎるかと思う。</p>

	<p>これが複式だったら明らかに1学級でもと思うが、適正規模というのは小学校12クラス。その場合、検討ぐらいが妥当ではないか。例えば、6クラスあっても20人ぐらいずつそろってれば、それよりも近くにあることが重要なので、「適正化を検討します」でどうか。</p>
D委員	<p>8ページのところ((1)のところ)で、小学校は少なくとも1学年1学級以上で、最終的には1学年2学級以上が望ましいと書いてあるが、中学校については、少なくとも1学年2学級以上と書いてあり、少なくとも9学級以上を確保すると書いてあり、中学校だけ少なくともが入っているが、ここは小学校と中学校で違うのか。後ろが中学校は9学級以上とあるが、少なくとも入っている。</p>
会長	<p>終わりの方の少なくともはならない。少なくともというのは強い表現で、望ましいというのは理想的だということである。</p>
E委員	<p>はじめにのところで、本市における児童数の減少、小規模化を考慮しながら子どもにとってよりよい教育環境を整備することと質のさらなる充実というのが目に飛び込んできたので、その一貫した流れで見たときに、子どもの減少があり、それを踏まえて8ページで本市における望ましい規模と配置条件で、富士市の条件が出てくるが、8ページの最後は、そうした教育を推進するためにはということで、これからの社会で必要な力、多様性やコミュニケーションとかの願う力を入れつつ、最後が「より良い教育環境を整備することにつながると考えます。」という形で締めくくられている。環境と質の確保の文言等を入れなくてもニュアンスがわかるがどうか。教育環境の整備、教育の質の確保をともに行うというニュアンスで、入れていくとはじめにの言葉がずっと入っていくと思う。</p>
会長	<p>どういう文にしたら良いか。</p>
E委員	<p>「児童生徒にとってのよりよい環境を整備するとともに、教育の質の確保に繋がると考えます」とすると、はじめにが生かされると感じた。</p>
会長	<p>最終的に言っているのは質の確保のこと。環境を整備し質の確保で。こちらの方は、経験年数、専門性、教員集団とか児童生徒の集団を確保するのが環境だから、児童にとってのよりよい教育、環境を整備するとともに、教育の質を確保する。一文が長すぎるかと思う。維持することが教育の質を充実させることにつながると考えられますではだめか。環境は何のために整えるのかというと、教育の質を高めるためにある。児童生徒にとってより良いな</p>

	んとかというの、教育の質を高めることにつながると考えられます、でいかがか。
B 委員	そうすると、はじめにの先ほどの、「よりよい環境を整備することや教育の質の更なる充実を」はじめにでは並列的に「や」で述べているので、どちらかを変える必要がある。はじめにの所で、よりよい環境を整備することによって、教育の質を」とか。
会長	はじめにの、「児童生徒にとってのよりよい環境を整備することや」を「ことで」にすればよい。

○5 具体的な方策、6 適正化の推進にあたって配慮すべき点等、7 基本方針策定後のスケジュールについて

B 委員	11 ページ<早急に適正化の検討が必要な学校について>と<適正化の検討が必要な学校について>というものの違いは分かるが、早急に、ということで、次のものは適正化の検討が必要な蓋然性があった場合ということだと思うが、最初が早急いで、2 番目が早急ではないが蓋然性が出てきたとき、いずれ適正化の検討が必要だが、早急にはない何か、自分が理解できなかった。
会長	よく読まないといけない。読み返して早急にとついていると読み解かないといけない。早急にのうち、最初の対象は早急いで、次の対象は早期いで違うことに気づかないといけない。表現として、下の方は、上は適正規模には入っているのだから、これは学校配置再検討の余地がある学校ではないか。それでは弱いか。このとおり進めていくと、教育委員会は相当きつい。単学級がある学校はいくらでもあり、これを進めていけるのか。本当に大変なのは複式が出ているところだと思うが。
B 委員	含みを持たせたほうがよいと思う。
会長	適正化と書かずに、学校再配置の検討の余地がある学校についてでどうか。そうであっても、近接する学校では小中一貫にするのは地域の人にとってはデメリットがない。例えば富士川二小中とか。この基本方針がなくても、校舎の合理性があれば進められることなので、そのくらいの書き方でいかがか。 また、早急にの項目で上の複式対象になっている学校や、数年後に複式学級の対象となる可能性の学校についてはこれでよいが、単学級が存在する学校は相当あって、早期にはなくて、できるだけ早い時期にくらいでどうか。

	この辺の感覚を学校の先生方に聞きたいが、私の感覚だと複式と単学級は雲泥の差で、複式が出ていれば友達の世界もスポーツも著しく限られてしまう。単学級で一学年に20人、30人いれば先生方のローテーションが難しかったりするかもしれないが、何とかできるという感覚だがどうか。事務局の先生方どうか。
事務局4	早期にという部分で順位付けをすると、会長がおっしゃるようなことになる。同時並行的に全ての校区に教育委員会が入れば別だが、なかなか難しいと考える。
E委員	確かに早期にというのは強いし、できるだけ早くの方が進め方としてはよいかと思う。
事務局3	中学校の立場からすると、単学級だと3クラスで教員が数人なので、部活動が限られてくる。生徒や保護者からの声が上がってくるかと思う。早めに考えて、一緒に検討することも大切だと思う。教科の面もそうだが。
会長	小学校と中学校を分けずに書いているので、小学校の単学級と中学校の単学級は少し違うかもしれない。
B委員	早急にという言葉が強すぎると思うので、両方ともできるだけ早い時期にすると、少しぼやけると思う。
会長	緊急度が違うと考えるべきだと思う。単学級が存在する学校と、複式が存在している学校では、市では加配をつけて非常勤で行っている。そこをどう考えるか。「現在複式学級の対象である学校、数年後には複式学級の対象となる可能性の高い小学校、及び、単学級が存在する中学校」 それでも事務局は短期間にその地域に入っていかなければならないと考えると、現実の動きを考えると若干大変なイメージがあるがどうか。
事務局2	早急にという言葉にはこだわっているが、理由は早く地区の声を聞きたいという思いがある。すぐに適正規模化していくということではなく、まずは私たちが見て心配な学校で話を早く聞いてあげたい、早く声を聞きたい。そして私たちが考えていること、保護者が考えていること、地域が考えていることをまず知りたいと思っている。今でも困っている学校はあるし、困るだろう学校がある。保護者から声が届いている、はやく一緒にならないかという具体的な話もある。そういう人たちの思いを聞きたいという思いが、「早急に」に表れてしまっている。
会長	それは理解する。検討を始めますとなっているので、複式の小学校と単学

	級の中学校、これについては早急にという表現を残して、単学級が存在する小学校についてはできるだけ早く、これでいかがか。
C委員	12ページ図内で、教育委員会が適正化を実施となっているが、考える会の設置の部分であり、矢印と別枠はいかがか。
会長	本来適正化を実施するのは、学校設置要領を改訂しなければならないから、議会マターでもある。取ってよいのでは。 11ページ一番下の適正化の検討が必要な学校について、先ほど文言を修正したが、それに伴い、一番上は「これまで以上に教育効果が高まると考えられる地域については、より積極的に再配置の検討を進めます」。少なくとも方針でまとめられた適正の範囲に入っている可能性は高いので。

○全体を通して

会長	これからの流れは、パブコメをかけて最終的に方針案が確定し、それを教育委員会に提出し、その後案をとって、教育委員会の方針とする。
事務局2	語句の修正等については、表現がいくつか変わる場面があるが、その確認方法として、再度会議を開催させていただいたほうがよろしいのか、そのあたりのご意見を伺いたい。
会長	録音し議事録にも残るので、その範囲内で私の方で一任いただければ、確認するが、いかがか。
委員	会長に一任する。
会長	よろしいか。
A委員	パブコメは行うか。
会長	パブコメは実施する。原則、私が今言った意見が適切に反映されているか、確認した上でパブコメにかけるというのでよろしいか。
事務局1	この適正化を推進するにあたって一番配慮したいのは、地域とのコンセンサスをしっかりと1つ1つ大切にとって、踏まえた上で進めていく。学校というのは教育委員会の持ち物でなければ、市の持ち物でもなく、地域にとっての持ち物であり財産である。地域にとっての大切な財産を行政の方で一つの方針の中で提案していくというのは、コミュニティの問題や防災の問題、いろんな視点があるから、一つ一つ着実に丁寧にしたい。配慮事項の最も大切なことだと、教育委員会の立場でも考えている。どの箇所で我々の視点が明確に示されているかということ、11ページの具体的な方向性の中でも真ん

	<p>中に、「地域とともにある学校づくり」の視点を踏まえ、保護者や地域住民との十分な協議を重ね、理解と協力を得ながらと謳われており、この言葉を汲み取っていただけるといいが、その後の配慮すべき点では入っていない。どこにおくべきかは妥当かは別として、この言葉を改めてこの部分をおくか、この視点を改めて理解してもらいながら進めたい、もう少し丁寧に書かれてもいいかというのが私たちの思いであるが、いかがか。</p>
会長	<p>5 具体的な方向性の中にある、上に書かれている最初のその際はという一文か。「学校が地域社会と深い関わりを持った地域コミュニティの拠点として」の箇所。</p>
事務局 1	<p>もう一箇所、十分な協議を重ねというのが、方向性の中に入っているのはいいのだが、我々が一番進める上で大切にしているという思いが、どこかで取りざたされてもいいのかなど。改めて配慮という言葉だとか大切にすることとしては、どうなのかと。方向性の中だけではどうなのか。ご理解いただけるか心配である。</p>
会長	<p>書き方としては、他の自治体と比較しても、かなり丁寧な書き方であるが、実際にこの問題は全ての人が万歳というわけではない問題である。最大限の礼を尽くすというか、配慮するのが温かい社会であると考えてるので、この6の前の冒頭に、こういう一文を加えてはどうか。「適正化の推進にあたっては、児童生徒の最善の利益と地域コミュニティの拠点の役割を考慮した上で、以下の各点を配慮しつつ、適正化を推進するものとする」でどうか。</p> <p>児童生徒の最善の利益ということと、地域コミュニティの拠点としての二点を念頭に置きつつ、適正化を推進するということを冒頭に書いておき、その後具体的に書いてくるというのでいかがか。</p>
B 委員	<p>その件に関して、3の国が考える望ましい学校規模と配置、4に本市における望ましい学校規模と配置ということで。本市における背景が書かれている中でも、地域のことを入れたらどうか。国はこうだが、本市はこのような形という比較で。配慮すべき点だけに入れたほうがいいのか。地域の関わりを配慮をもう少し前に出したいのなら、4の前文の箇所か、配慮すべき点の箇所かに加えたらよいか。</p>
F 委員	<p>6に今の地域とともにある学校づくりの前文を入れるという話だが、6の項目が、最後に「地域防災力の低下を招かない」、遠距離通学の補助金に関してなど、注意事項が多いので、配慮すべき点はこれでいいと思う。B委員の意</p>

	<p>見のように4に関して、具体的なことというよりは、世間で言われているような抽象論が多いので、ここに3と4の比較を取り入れるとして、今事務局の言った、地域とともにつくる学校というのは、前文として4に入れたほうが個人的にじっくりくる。</p> <p>3が国で、4が市なので、市のオリジナリティが見えない。</p>
会長	<p>3の方は、適正規模適正配置の数値が違うということと、国の方はドライに標準的なもの。4は富士市がどう考えるかで、結果的には同じになる事はいいが主体性のない考え方はよくない。配慮すべき点の方は具体的に進めるにあたり指針となるものなので、これはこれで問題ないとは思いますが、学校規模と配置条件の中で、こういうふうにしたらどうか。4の(8ページ)4段落目「このような中」で始まる文章がすごく長い。「このような中、学校では思考力、判断力、表現力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身につけることの重要性を強調されています。」で切って、富士市は昔から「学校縁」という言い方をしてきた。富士市の教育振興基本計画の中で「学校縁」という言葉があった。「教育振興基本計画にある学校縁の理念に象徴されるように様々な年代との交流や地域社会との関わりを通して人間関係の広がり重視した教育活動を実践することがより一層大切だと考えます。」富士市という言葉とそこの部分を切り離すことで、若干強調できる。これでいかがか。</p>
B委員	<p>私は判断できなくて、どちらがいいかわからないので皆さんに問いかけた。</p>
会長	<p>両方ある事はいいと思うし、富士市の独自性というか富士市の主体性としてどうかは、あっていいと思う。あまり抽象論が勝ちすぎて理念だけが述べられているのもよくない。そうすると、方向性としては人間関係の広がりや地域との関わりをより一層強調しなければならない、強めていいだろう。望ましい学校規模と配置条件だから、その中に理念的なものが入るとかえって分かりにくいかという思いがある。</p>
F委員	<p>具体的なものが入ると、少しわかりづらいということか。8番を作ってはどうか。項目を増やす。</p>
会長	<p>どこに増やすのか。</p>
F委員	<p>例えば、これでいうと、5番と6番の間か。</p>
会長	<p>5番と6番の間に、どんなものが。</p>
F委員	<p>例えば地域とともにある学校づくりという視点を富士市ならではの見方で、5番が具体的な方向性で、6番が抽象的な。</p>

会長	5は具体的な方向性で、6は留保事項つまりそれが変な方向に行かないように付帯条件としてついているのが6であると考えている。
B委員	4、5、6と進むにつれて具体的になってくるので、理念みたいなものは前の方がいいのでは。最後に留保事項として6に入れてもいいのではないかなと思う。理念的なものは前半や冒頭にとか、書いてあるがもう少し強めるのも1つか。もう一つつけてもいいと思うが、具体的に進んでいる書き方かなと思う。
F委員	具体的に6の前文に入れるのは、違和感を覚える。
会長	<p>6の前文に入れるというのは、原則論として、地域と子どもを入れておくと、その具体を○で示したというつもりである。5、6、7ときたときに、実際に検討していく際に指針とすべきは、5、6、7である。基になる考え方を前半で述べている形になる。ここに新たな項を起こすことになると、それがいったい何が言いたいのかという可能性があるので、ここはスッキリとまとめたほうがいいであろうと。一文を加えておく程度でいかがか。その地域コミュニティの望ましい学校規模と配置条件については、先ほど言ったようにこのようなから始まる一段落を二文に分けることで、やや強調性を強める、このことは議事録には残るので、そうした心構えは忘れないように実際には実施するときに留意するといったところでいかがか。</p> <p>先ほど申したとおり、今の方針に従いパブコメをかけていただき、その上で我々の中できちんと考えたつもりでも、外から見るとききちんと表現できていなかったことが当然ありえるので、その場合には誠実に検討させていただくという形をとらせていただくので、そのような形でよろしいか。</p>

今後の日程等について

事務局より、今後の日程について説明する。次回は、4月以降に開催予定である。

閉 会